

「浜松市カーボンニュートラル達成事業者」の認定について

遠州信用金庫（会長：守田泰男 理事長：鈴木靖）は、2024年1月、浜松市が新設した制度「浜松市カーボンニュートラル達成事業者 ※1」に認定されました。

今回、遠州信用金庫の全店舗（本部を含む）の需給電力を、再生可能エネルギーを活用した電力契約締結したことで、日々の事業活動の中での「電力使用に伴う CO2 排出の実質ゼロ」を実現している点を、高く評価・認定いただきました。

遠州信用金庫は、2021年11月より、浜松地域の脱炭素社会実現に貢献するため、全店舗での電力利用を再生可能エネルギー100%に切替いたしました。同時に「再エネ 100 宣言 RE Action (※2)」にも参加し、「電力使用に伴う CO2 排出の実質ゼロ」の目標を宣言いたしました。2022年・2023年における目的達成を実現し、現在も継続しております。

今後、「電力利用以外の CO2 排出実質ゼロ」の分野にも取組み、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた取組みを進めてまいります。

そして、遠州信用金庫の基本方針の1つである「協同組織の理念のもとに、地域社会の繁栄に積極的に貢献」したく「地域の企業様の脱炭素経営」に向けた取組みを強化してまいります。

※1 浜松市が「浜松市域のカーボンニュートラルを実現するため、浜松市内に立地する事業所において、カーボンニュートラルに市内のトップランナーとして取り組む事業者を認定する制度」。2023年10月に施行。

※2 再エネ 100 宣言 RE Action 協議会主催：使用電力を 100%再生可能エネルギーに転換する意思と行動を示し、再エネ 100%利用を促進する枠組み。

■事業所としての取組み■

- ・全店舗での電力利用（総消費電力）を再生可能エネルギー100%へ切替。
- ・店舗リニューアル・新施設設置の際は、ZEB 建築を採用。効率の良い電力利用と電力量削減を実現。
- ・「再エネ 100 宣言 RE Action」に参加。

■地域企業様に向けての取組み■

- ・カーボンニュートラルセミナーの開催
- ・「省エネ最適化診断」や「太陽光発電」の紹介を含む啓蒙活動
- ・「脱炭素経営導入」の提案活動



2023年7月に新設した ZEB 型建築施設（太陽光発電設置）
えんしんライフサポートプラザ（浜松市中央区有玉北町）

参考：2021年 再生可能エネルギー電力導入前の総消費電力使用量：約 1,700,000kwh

直近年の総消費電力使用量：（購入電力+再エネ自家消費）：1,536,908kwh

（直近年の CO₂ 年間排出削減量 77 t -CO₂ /年）

問い合わせ先：遠州信用金庫 総務部（担当：水野）

〒430-8689 浜松市中央区中沢町 8 1 - 1 8

TEL：053-472-2111

MAIL：enshin.somu2@enshu-shinkin.jp